

絵本『カーくんと森のなかまたち』読み聞かせの道徳授業 感想

埼玉県の中学校 1 学年生対象

「命は大切な宝物だと分かりました。」「皆で仲良く支えあうクラス、学校にしてゆきたい。」という内容の感想が多数ありました。「家族にうつ病の人がいる。」という感想もあれば、「うつ病をはじめて知った。」という言葉もありました。「自分もカーくんみたいに同じような悩みをかかえた事があったので共感しました。でも、カーくんは、悩みを打明けられる人がいてよかったなと思いました。私も、自分がここにいて良いのかなと本気で思った事があった…私も、悩みができれば聞いてもらいたいし、みんなのためにいい事をしたいと思いました。」(4組女子)のように、自分の悩みを解決する希望を見つけた生徒が多く、「私も今、自分のいい所や得意な事が本当に分からなくなっていて、その時に、この話を聞いて、『自分にもあるのかな…』と思いました。」(2組女子)と、自信を取り戻すきっかけをつかんだと思われる生徒も多数いました。さらに、いじめや言葉の暴力は人を心の病気や死に追いやる危険のある行為である事を考えたものとして、「『きもい』『死ね』等の汚い言葉で自殺の方向へ行ってしまう人などがいるので、遊びで汚い言葉を使わないようにしたいです。」(4組女子)、「心を傷つけては、命が危ない。」等の感想がありました。具体的には、以下のような感想がありました。

「まず私は、絶対、言葉の暴力を振るわないようにしようと思った。そして、友達に打明けたり、友達を救ったりできる心は、とても大切だと感じた。いじめや差別は、その人の大切な物を奪ってしまう事と同じなんだと思った。同じ人間で一人一人違う事は当たり前なのに、その違いが大きい人をいじめるのは変だと思う。そして悪いと思う。言った人は分からないけど、言われた人は辛い思いをしているかもしれないから、やっぱり、友達を大切に、友達の長所を見つけていこうと思った。私もそういう体験があって、相手はふざけて暴言をはいていたのだけれど、私はすごく重くとらえてしまった。でも、それを親に相談したらすっきりして少し落ち着いたから、1人で抱え込んではいけないと思った。ということ考えると、夢ら丘先生が言っていた“助け合い”はとても共感できる。改めて、命の大切さについて気付く事が出来て良かった。カーくんのように、自分に自身を持って前向きに生きて行けたらいいなと思う。これからも、辛い事があると思うけど、頑張って乗り越えていきたい。」(3組女子)

「この絵本の話聞いて一番思ったことは、カーくんは、はじめ、自分のいいところがないと言って、1人になりたいと言っていたけれど、夢の中で誰もいない何も聞こえない森を見たり、また、現実で森の仲間カーくんの長所を沢山言ってくれたおかげで、自分の大切さに気づいたところがとても印象に残りました。ぼくは、これから、自分を大切にして、そして、友達を作りたいと思いました。そして、友達が悩んでいたら、積極的に相談にのってあげたり、適切なアドバイスをしたいと思います。また、自分が悩んでいたら、1人で抱え込まず、信頼できる友達に相談して悩みを打ち明けたいと思いました。最後に、言葉で人を傷つける事もあれば、人を救える事もあるという事を、いつまでも忘れないようにしたいです。」(2組男子)

「僕は今日の授業で、どんな人にも優しくできるような人になりたいと思いました。理由は、自分が言った言葉で他の人を悲しませたりしなくなってきたからです。「カーくん」と森のなかまたちでは、カーくんは、誰にもひどい事を言われなくても落ち込んでいたので、もし、そういうふうで落ち込んでいる人にひどい言葉を言って追いつちをしてしまったら、その人はもしかしたら学校に来なくなってしまうかもしれないし、自分もあまりいい気持ちにならないと思います。なので、人の気持ちを分かり、他の人を傷つけないような人間になりたいと思います。」(2組男子)

命の大切さ、友達の大切さについて

「この絵本の感想、今日の授業で感じた事は、命の大切さ、重さです。カーくんが落ち込んでいた時に心配してくれたなかまたちがいるのといないのとで、命がかかっていると思うと、仲間、友達はとても大切な存在だと思いました。カーくんだけでなく、人間でもそれは同じだと思います。だからこそ、とても仲の良い友達は作らないといけない、もしくは、自分がなってあげなければいけないと思いました。私も、いざ、とても誰にも話せない悩み事がかかえた時は、誰にも話したくないと思うかもしれないけど、いざ、自分の悩みを言うとほっとする。と、実際に経験した人が言っているのだから、私もその時、その時の大親友に相談してみようと思いました。」(1組女子)

「今日のお話を聞いて命の大切さがすごく良く分かりました。絵本も観て、気がついていなくても、自分にしか出来ない事はあるんだなと思いました。私は、昔だけ友達でいじめられている子がいました。その時はいじめられている子から私に話をしてきました。私は、その話を聞いたとき、すごくびっくりしました。その子はすごく明るい子でした。その子は、習い事の友達だったので、週に1度しか会えなかったけど、今思うと、もっとその子のつらい思いに早く気がついてあげればよかったのになと思いました。…、これから先、もしそういう子がいたら、私から気づいてあげたいと思いました。そして、もし自分がいじめられたり、悩みがあったとしたら、出来るだけ友達や親などに相談してみたいと思いました。」(1組女子)

うつ病・自殺について

「ぼくは、ニュースやテレビ番組などで、うつ病について見たことがあります。ストレスやいじめなどで精神的に追いやられてしまい、しまいには自殺をするというケースが殆どでした。ぼくは改めて、この授業で、うつ病の事について深く知りました。…」(1組男子)

「ぼくは、この絵本を読んでいるんなことを学びました。人に相談できないのがどんだけつらいのかがこの絵本を読んで分かりました。うつ病という病気を初めて知りました。だれにもこの病気になる。ぼくは、友達がいっぱいいるからいいけど、しゃべるのがにがてな人とかは、なかなか相談ができない。だけど、誰か、悩んでいる人がいたら、ぼくから積極的に声をかけて、ちょっとでも役になり、みんなと友達になり、いじめや差別をなくして良いクラスにしたいです。」(1組男子)

「今日、夢ら丘さんや先生の話をして、とてもショックを受けました。いじめ、自殺、うつ病について、はっきり言ってパツとしないし、ニュースで誰かが自殺したと聞いても、家族と「なんでだろう？」とか「馬鹿じゃないのか」と話すことはあるものの、「どんな事情があったのか？」「どれだけ悩んでいたのか」と考えることもなく、考えたとしても分かるものでもない、そう思っていて関心がなかったからです。でも、松島先生の友達の方が亡くなったと聞いて、いつ「自分の周りで人が自殺してもおかしくないくらい、うつやいじめ」が身近なものだと感じました。ぼくも、色々なやんだこともあります。今も1つや2つのなやみはあります。でも、他の人にとって、そんなこと深刻でもないし、自分でもプラス思考でいこうと思っているので、前向きに行こうと思います。そして、「いじめ」などの行いを見つければ、やめさせられるような強い人になると思います。ありがとうございました。」(1組男子)

「自分はカーくんと同じようにいい所がないと思ったり、自分では気付かないいい所もあるんだなあと思いました。でも、きっとカーくんは、悩みすぎて頭が混乱してしまったのかもしれないかとも思ったりしました。私の家族にもうつ病の人が2人もいるので、私は話を聞いてあげたり、色々なプレゼントをしたり、できるだけ一緒にいてあげたいと思いました。私も、家族のうつ病の事や学校の事、友達の事でいっぱい悩んでしまいがちでためこんでしまうので、友達に話したりしたいと思いました。一番の原因は、いじめや家族が死んでしまったり、上司の事など、色々あるけど、やっぱり、それだけで命をすててしまうのはもったいないと思いました。めげずにいっぱい事などあると思いました。」(1組女子)

「『カーくんと森のなかまたち』の音読を聞いて、自分では何も特徴が無いと言って自分で自分の事を責めたりプラスの事ではなくマイナスの事を考えたりする事は、自殺やうつ病などつながりすることを初めて知りました。その後、カーくんの友達たちがカーくんの長所を見つけてあげたりして自分の生きる道を見つけたのが感動しました。一番大切なことは、自分で自分を責める事などは絶対にしないことと、もし、悩みを抱えているのなら、誰かに相談して聞いてもらうのが一番大切な人生を明るく華やかに送れるコツなのかなと、音読を聞いて知りました。」(1組男子)

悩みの告白、悩みは相談したい、悩んでいる人には声をかけ話を聞いてあげたい

「私は、今、実際にすごく悩んでいます。…私には、仲良しの友達が沢山います。でも、違うクラスになってしまい、あまりしゃべってくれなくなってしまいました。でも、新しくできた友達も、私が悩んで泣いていた時、「だいじょうぶ？もしかして私のせい？あとで相談のよ」と言ってくれました。すごく嬉しかったです。まだまだいじめの問題が解決したわけではありません。いろんな悩みが今さらに重なり、友達に相談できずにいます。なぜなら迷惑をかけようと思っているからです。でも、今日話を聞いて、是非相談してみようと思いました。また、友達が悩んでいたら話を聞いてあげたいです。今日聞いた話はとてもいいと思います。どんなに変わっている人でも、私は仲良くしよう、そう思いました。」(4組女子)

「僕がこの授業で思ったことは、悩みを持っている人の気持ちをもっと深く考えてあげることが大切だと思い、考えました。僕自身も悩みを抱えたときがあります。悩みを抱えている時は、マイナス思考になってしまい、自分がいなくなつていいんだと考えるようにまできてしまうことがあります。それでも、心のどこか、奥底には、みんなと楽しくいたい、などといったプラス思考もあると思います。その思いを、悩んでいる人は、家族や友人、親しい人に伝え、相談された人は、相手が心の奥底にある気持ちを考え、自分が思う相手のいい所を話し、優しく接していれば、相手も立ち直ってくれると思うので、クラスにはそういった人が沢山いればいいと思います。」(1組男子)

「今回、うつ病の患者が増えているからという事を聞いて、命の尊さ大切さが良く分かりました。私も小3年生の時に色々、なわとびを水につけられたり、きたない言葉を受けて、とても落ち込んで、その事は今だにお母さんに話していませんが、ある女の子が、全然友達じゃなくて初対面だった子に、「ね-ね-、大森さん、少し話があるからいい？」と言われて「うん！」と言って二人で話した時、とても暖かい言葉をいただいて、とても心が落ち着いて楽になりました。…だから、また、こういった事がくりかえされないようにしていきたいです。」(3組女子)

「授業中に少しの間考えてみたところ、微妙に思い当たるフシがあります。私も、心のどこかで、どこか誰もいないと所に行きたいと思った事があるのです。結局、「誰もいない世界はさみずすぎる。」と思い、考えるのをやめました。その、うつろと言うか、そんな感じが、絵とよく似ていて、絵を観て、そんな考えはいけないと思いました。だから、その対極にある場面を見て、改めて、時々いやになることがあっても、仲間と言うものがある世界が素晴らしいと再認識したのだと思います。印象に残った理由は、多分そうなんだろうね。有難うございました。」(2組女子)

「カーくんが思っていた、自分なんかいてもいなくても変わらないから、誰もいない所に消えてしまいたいって思った気持ちは良く分かりました。カーくんには、友達が沢山いて、とっても優しい先生がいていいなあと思いました。私には、確かに仲良くしてくれる友達や、優しい先生がいるけど、たまにこわくなる時があります。楽しい思い出が夢で、夢が覚めたら皆が私の事なんか消えてしまえばいいのにとかわれているんじゃないかと思う時があります。私は、5年生の時に、ある男子2人にいじめなのか微妙だけど、ひどい事を言われたりしました。とても怖くなって、もう何もかもいやになってしまった時がありました。その後の事はもう書きたくないので書きません。」(1組女子)

「私は、カーくんの事がかわいそうだと思います。ずっと悩みを言い出せなくて、抱え込んでしまって。でも、ホー先生が声をかけてくれたおかげで、言い出せなかった事が言えた事が良かったと思いました。私はうつ病はかわいそうだと思います。私だったら、少しでも、空き時間でも一緒に楽しく話をしてあげたいと思いました。私は、小学生の時、上履きを隠されて、とても悲しかったです。でも、お母さんに相談したら、苦しかったのがなくなって、やっぱり人に話を聞いてくれる事はうれしいし、スッキリするから、カーくんと森のなかまたちを聞いて、改めて分かりました。なので、1人で抱え込まないで、悩み事があったら話したいと思いました。カーくんの話はいい話だと思います。」(1組女子)

「今まで自分だけで抱え込んでいた悩みも、今日の読み聞かせの本『カーくんと森のなかまたち』を読んで、これからは学校の先生、親、友達に相談をしていきたいと思いました。」(2組女子)

「もし友達が悩んでいたら積極的に話しかけて相談にのってあげたいです。また、自分が悩んでいたら、友達、先生、家族、信頼できる人に相談してみたいです。今日の授業で大切な事を沢山学べて良かったです。やった事をわすれないように心がけたいです。」(2組女子)

自分や友達の良いところを見つけたい。自信が湧いてきた。

「他の人には良い所があっても、自分をほめる所がなかなか見つからない時は沢山あります。でも、『カーくんと森のなかまたち』を読んで、気付かれないうちに自分が誇れる事があるかもしれないと思ったらなんだか自信がついてきました。悩み事があったら、多分、僕は、その悩み事を誰にも話すことはできないと思います。でも、この絵本のカーくんは、ちゃんと悩み事をホー先生に話す事が出来ていて、すごい事だなおもいました。だから、ぼくも、ちゃんと悩み事を他の人に話せるようになりたいと思いました。このことを頭に覚えて、ぼくはうつ病にならないように気をつけたいと思いました。万が一うつ病になったとしても、このことを思い出して、うつ病を治して、ちゃんと生きていきたいと思いました。」(1組男子)

「僕はこの授業をやってみて、自分では気付かずに、うつになっている人がいれば、いい事を言って気付かせて、自信を持たせてあげるといふ新しい事を覚えました。他にも、良い事を探したり、その人の相談相手になってあげます。…他にも、自分はダメだと思った事があるので、自分の事も色々探してみたいです。」(3組男子)

「カーくんはいろいろ悩み事をしているんだなあ…って思いました。自分には何もとれやがないとか、私も時々思うんですが、カーくんは自分の知らない間に良い事を沢山して、自分のコンプレックスの色が、他の人にはいい色で、自分が食べたものが最後に種になるのを土に埋めているなど、自分にできることをしていたのでよかったです。私にできることは何かないかな?って思いました。私は、何もできなくて、部活でも何もできなくてって思った時に、この話を聞いて、心のどこかが救われた気がしました。また、何か悩み事があった時には、この話を思い出したいなって思いました。…」(4組女子)

いじめ、汚い言葉について

「いじめや暴力的な発言は、人を自殺に追い込んだり、うつ病にする事だと改めて思いました。もし、いじめられている子がいるのなら、優しく接してあげたり、相談にのってあげられる人になって行きたいと思いました。僕も、1年生の頃少しの間いじめられていた事があったので、カーくんの気持ちが少し分かります。でも、僕の場合は、すぐに相手と仲直りできたのでカーくんのようになりません。でも、もし、僕がいじめられ続けていたら、僕もカーくんのようになっていたかもしれません。いじめは、本当に怖いものだと思います。」(3組男子)

「夢ら丘さんの絵とストーリーが上手く合っていて本当に感動しました。人として一生懸命生きてる人に「うざい」「汚い」「死ね」などと言う人がこの世の中からいなくなったらいいなと思いました。言う人は狂気になっていると思います。僕は、言われている人、狂気になって言っている人、どちらも助け、この世の中から「自殺」という言葉がなくなってほしいと思いました。人間は、みんな血のつながった仲間、家族なので、助け合い歴史を築いてほしいと思いました。」(2組男子)

*以上の各文章は児童・生徒の感想文の一部を抜粋したものです。読みやすくするために一部漢字に直しました。